

地域コミュニティ づくりの

リアルな現場を学ぶ

スタディツアー

A SOCIAL TOUR
TO LEARN ABOUT REAL SITES
IN THE LOCAL COMMUNITY

若年層を対象としたワークショップ

広島市企画総務局 コミュニティ再生課

1 事業概要

目的

若い世代を対象としたワークショップを開催し、様々なプログラムを通じて、若い世代の価値観や地域に対する意識を把握するとともに、参加者が地域のことを考えるきっかけとすることで、参加者の郷土愛の醸成を図り、将来の地域活動の担い手確保につなげる。

実施内容

「地域コミュニティづくりのリアルな現場を学ぶスタディツアー2025」

若い世代が実際に地域等へ出向き、地域活動実践者や新たな担い手候補者と交流することで地域等の現状を知るとともに、その中で感じたことや気づきを参加者で共有し、これからの地域コミュニティとの関わり方(できそうなこと、やってみたいこと)を話し合う。

(1) 期間 令和7年10月～令和7年12月(計5回)

(2) 参加者 約20名

(広島市内に在住または通勤・通学している20代～40代)

※大学生、子育て世代の社会人、行政職員等

2 ワークショップ

(1)「地域コミュニティづくり入門 ～地域コミュニティの実情を知ろう！～」

広島市の取組(町内会・自治会等実態調査結果、広島市地域コミュニティ活性化ビジョン、ひろしまLMO)について学習した上で、第2回以降の現地視察先の事前情報や地域への聞取りのポイント等を把握した。

・日時 令和7年10月15日(水) 19:00～20:30

・場所 port.cloud(ポートクラウド)

(広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル9階)



本日の内容

- 1 はじめに
- 2 地域コミュニティとは？
- 3 広島市の現状と課題
- 4 広島型地域運営組織「ひろしまLMO」
- 5 スタディツアー訪問先の紹介

2 ワークショップ

(2)「スタディツアー①②③ ～地域コミュニティの現場を巡ろう！～」

各種地域団体等の活動実践者や新たな担い手候補者から活動内容や課題等について話を聞くとともに、実際に活動へ参加することを通じて、地域の現状を知るために、以下の地域等を視察した。

【視察先】

①南蟹屋町内会(大州学区)

・日時 令和7年11月1日(土) 13:00～15:30

②飯室地区地域運営委員会(飯室学区)

・日時 令和7年11月22日(土) 13:00～15:30

③吉島東学区孫子老のまちづくり協議会(吉島東学区)

・日時 令和7年12月7日(日) 13:00～15:30

【内容】

- ・活動実践者から取組紹介・対話、新たな担い手候補者との対話
- ・活動現場視察、まち歩き
- ・参加者の振返り、学びの整理・共有



2 ワークショップ

①南蟹屋町内会



視察先について

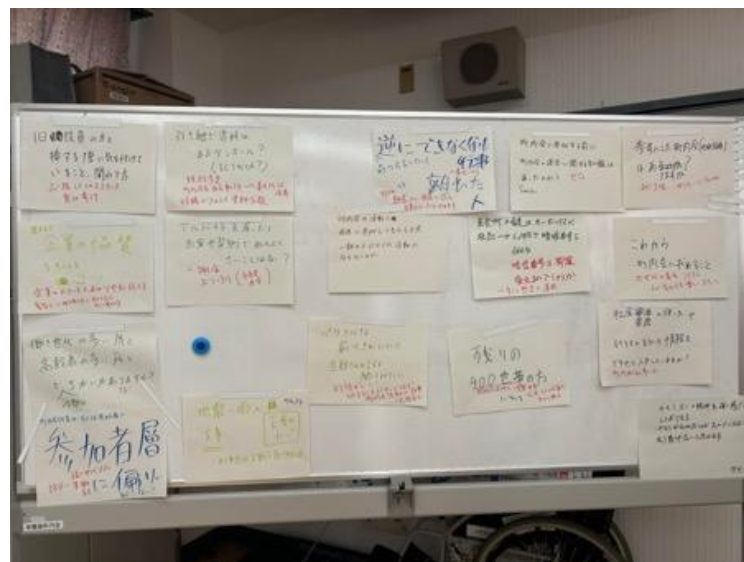
○南蟹屋町内会は、マツダスタジアムとコストコがある町です。行政と町のパイプ役でもある町内会は、690世帯の会員の皆様とともに「くつろげるのは家だけじゃなく町でもくつろぐ」をテーマに新たな組織へと改革していきます(南蟹屋町内会HPより)。

2 ワークショップ

参加者の感想

○企業に協力してもらうためには、企業が協力するメリットを伝えた方が企業側も納得しやすい。しかも、それぞれの業態・立地等に合わせたアプローチが効果的(前川さんのメリットの伝え方が秀逸！)。

○今は会長が先頭に立って町内活動を行なっているようでしたが次に引っ張っていけるような人が必要とお話しされており、地域が良くなることを1番に考えていることや今だけではなく将来についても考える重要性を感じました。また、町内会の役員の負担を減らす取り組みが印象に残りました。



2 ワークショップ

②飯室学区地域運営委員会



視察先について

○いむろエルモは、広島市安佐北区飯室地域において、住民・地域団体・学校・行政など多様な主体をつなぎ、地域課題の解決や魅力向上に取り組むまちづくり組織です。

○交通安全活動や防災学習、地域福祉、見守り活動、イベント運営などを通じて、安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

○また、地域内で行われているさまざまな活動や情報を発信し、住民同士の交流や協働を促進する役割も担っています。

2 ワークショップ

参加者の感想

○LMOを結成することで各団体の負担が軽減するという利点があることがわかりました。また、LMOが代わりに活動をするわけではないので各団体が自走できるようにすることも大切だと知りました。

○企業連携をすることで広報力はアップするが、他方で地域の取組感が薄れるというトレードオフの関係があることを知った。

○アンケートやかたりbarなど、地域に住んでいる人の需要をより理解しようとしているところが印象的だった。



2 ワークショップ

③吉島東学区孫子老のまちづくり協議会



視察先について

○エルモ吉島東(吉島東学区孫子老のまちづくり協議会)は、広島市中区吉島東学区において、町内会や社会福祉協議会、防災・防犯団体、学校、PTA、医療機関など29の団体が連携し、地域課題の解決や住民同士のつながりづくりに取り組んでいます。

○交流イベントや学習機会の創出、地域活動の情報発信に加え、「孫子老サロン」や「まごころ文庫」など、世代を超えて気軽に集える場づくりも推進しています。

2 ワークショップ

参加者の感想

○吉島東では若い方が「これをやりたい」と積極的に発言できる環境づくりに取り組み、それをかたちにしていることがすごいなと感じた。町内会同士の結びつきがすごかったり、病院や学校なども巻き込んで活動していたりなど、連携団体の結びつきが活動の規模であったり、盛り上がりにつながっていくのだと感じた。

○地域活動は大人の部活動、地域活動を通じて人との関わりが増える、アルコールで解決できることもある。



2 ワークショップ

(3)「これからの地域コミュニティとの関わり方を考えるワークショップ」

昨年度のワークショップの結果(こういう地域コミュニティは関わりやすい、関わりにくいなど)、第2回～第4回のスタディツアーを踏まえ、人とのつながりを維持しつつ、新しい人が関わりやすい理想の地域コミュニティについて話し合った。

・日時 令和7年12月20日(土) 10:00～12:00

・場所 port.cloud(ポートクラウド)

【内容】

- ・スタディツアーの振り返り
- ・若い世代はどうしたら地域活動に関われる？関わりたくなる？



2 ワークショップ

主な意見

○子どものこれからを考える上で、その地域が子どものための様々な活動を行っているかどうかなどよく考えるようにもなりました。地域コミュニティの活動は多岐に渡りますが、地域の子どもの将来に繋がる活動は大変重要であり、LMOとして活動する地域の多くはそこを意識して活動していると改めて感じました。

○地域に対する考え方が大きく変わりました。地域、コミュニティ、町内会どれも誰かが義務的にやっているものであると思っておりました。ただ、「楽しいことをやりたい」「大人の部活動」など今までのイメージとは違うことをやろうとしている地域もあり、これからの地域にはこの考えが必要であると感じました。企業を巻き込み地域活動を行うなど、この企画に参加するまでは考えたこともない地域運営の在り方を目の当たりにし、地域運営の考え方が変わりました。

○継承の難しさと大切さを肌身で感じた。「人手不足と継承」もっとマクロに考えていかないと解決することのない課題であると感じたため、今回のツアーで感じたことをもとに地域課題について知見を深めていきたい。

○地域に貢献したいと思うようになった。その際にはぜひ、このツアーで得たことを活かしたい。